



佐世保市立大野中学校

所在地：佐世保市松瀬町 838 番地

校長名：山口 一成

生徒数：597名（20学級）

校訓：「至誠をもって生涯を貫こう」

1 特色ある学校づくりに対する基本姿勢

大野中学校の教育目標は「大きな志と真心を持ち、のびる生徒の育成」です。人権尊重の視点に立った学校づくりに取り組むことで、生徒の集団への所属感と安心感、互いに認め合う関係、主体的に学び合う姿勢と態度を養い、学校教育目標の達成を目指しています。

自己実現への力を育むために、次の視点で特色ある学校づくりを進めています。

- (1) のびる知性
- (2) のびる徳性
- (3) のびる体力・自信
- (4) 開かれた学校づくり

特色ある取組として、講師の先生をお招きしての講演会等により「本物に触れる」機会の充実を図りました。



2 実践内容・成果

(1)のびる知性

【人権・平和意識の向上】

「みんなが安心できる学校・社会を作ろう～知る・気づく・行動する～」をテーマとして、「健康的で心豊かな生活」について学習を深めました。

○6月5日(金)「ストレスと上手につきあうために ～新型コロナウイルスに負けない～」

「自分と相手を大切にしたいコミュニケーション(アサーション)を学ぼう」本校 SC(スクールカウンセラー) 梶原妙子先生による講話(校内放送で実施しました。)

○11月26日(木), 27日(金) 人権講話を含んだライブ鑑賞

「FUNKIST 染谷西郷 ～ROOT OF SAIGO SOMEYA～」講師 染谷 西郷氏

○12月4日(金) フォーオールプロダクト代表 石丸 徹郎氏

「自分の人権を大切にする生き方 ～幸せを実現する方法」

体育館とスカイプによるリモートで実施

講師の方々から直接お話しいただいたことで「命、人権、いじめ」について、実感を持って理解する貴重な学習の場となりました。学習後の生徒の感想には、実生活に生かそうとする意識・態度が育ったことを感じさせるものが多くありました。多様な価値観を受け入れて、お互いの個性を認め合う大切さを理解し、本校の特色ある学校づくりの柱「みんなが安心できる学校・社会を作ろう～知る・気づく・行動する～」を推進することができました。



(2)のびる徳性

【校外外における体験活動の充実】

○職業講話

社会性を育むために、学校だけでは学ぶことができない体験学習や講演を聞く機会を推進したが、コロナ禍の中で中止せざるを得ない行事も多かった。代替えとして職場体験の代わりに職業講演会等を拡大して実施し、より明確な目的意識をもたせ、それぞれの学習活動に臨ませることができた。本校の教育目標「大きな志と真心を持ち、のびる生徒の育成」に迫ることができた。



【学校園やプランターによる花栽培】

花いっぱい運動の一環として、特別支援学級の生徒、生徒会役員を中心に、卒業式を彩る花をプランターで育てた。

(3)のびる体力・自信

【健康教育の推進】

○歯科保健講話（リモートで実施）

11月24日（火） 歯科講話「体の健康は健口から with CORONA」 学校歯科医 原田 洋介先生
全学年リモートによる実施。

学校歯科医による歯科講話については、放送及び各学級での担任によるプレゼンテーション操作の形で実施できた。

一昨年度から本校生徒の歯の状況についても把握されている学校歯科医に講話をお願いしたことで、大野中学校生徒の歯科検診の結果などをもとにお話しいただいた。全校生徒は、自分の事として真剣に耳を傾け、各学級のテレビに映し出される資料に釘付けになった。

○薬物乱用防止教室

12月18日（金） 講話「薬物乱用について ～不正薬物の水際取締り～」

佐世保健課支署 統括監視官 上野 貴久氏 川渕 直樹氏（3年生生徒のみ体育館で実施）

実際に語っていただくことで、本校の特色ある学校づくりの柱である「みんなが安心できる学校・社会をろう ～知る・気づく・行動する～」を実践することができた。

コロナ禍の中で、生徒に「命」、「人権」、「健康」、「人とのつながり」の大切さについて実感を伴って理解させることができた。各学習会後の感想には、「自分を成長させたい」、「社会の一員として活躍したい」という夢や志のあるもの、今後の生活の糧とする等意欲あられるものが多かった。

(4)開かれた学校づくり

【学校カレンダー作成・配付】(中止)

本校の教育目標や生徒の活動の様子の写真、学校行事を記した「学校カレンダー」を作成し、全家庭及び地域の関係機関に毎年配布しているが、今年度は行事が不確定となったために配布することができなかった。